



報道関係者各位

プレスリリース

2024年8月19日
サイ클ーズ株式会社
東港金属株式会社

東港金属 千葉工場

廃プラ由来 高性能資材製造を開始

サーキュラーエコノミーを追求する、サイ클ーズ株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：福田 隆、以下「当社」）のグループ基幹企業である東港金属株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役：福田 隆）は、2024年8月9日付けで、千葉工場（千葉県富津市）におけるRPF製造ラインの稼働の産業廃棄物処分業変更許可取得し、混合廃棄物等に含まれる紙屑、廃プラスチック類等を分選別し、圧縮・成型することで、RPF(Refuse derived paper and plastics densified Fuel)および製鋼副資材の製造を開始いたしました。石炭由来の固形燃料と比べ、約30%CO₂削減効果が期待できる環境配慮型燃料となります。

東港金属千葉工場は2009年に中間処理業許可を取得し大型シュレッダー（1000馬力）を中心に金属リサイクルを行ってきました。2020年に微細金属選別ラインを導入し、シュレッダーダストからのさらなる金属選別が可能になり、今般のRPFラインの稼働により、ダストの燃料化まで可能になりました。今後は、多品種における選別精度の向上を目指すとともに、今後更なる増産も想定し、製造業界に供給可能な高性能資材を製造して参ります。

● 生産品

品目	詳細
RPF	Refuse derived paper and plastics densified Fuel 主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙および廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料。石炭や、コークス等化石燃料の廃棄物由来の代替品として使用される
製鋼副資材 1	転炉で溶融銑鉄を酸化させ、不純物を除去する工程において、「フォーミング現象」と呼ばれるスラグの発泡、膨張現象が生じる。このフォーミング現象により、溶けた鉄やスラグが溢れる危険性が高まる。この急激なスラグ膨張を避けるため、反応速度を抑える資材となる。
製鋼副資材 2	転炉、電気炉、平炉等による製鋼・精錬に当って、溶鋼およびスラグの加熱昇温と燃焼を促進して熱源コストの大幅低減を可能とする製鋼用助剤になる。



● 産業廃棄物処分業許可変更

今回の変更許可で、新たに「圧縮固化」の処分を追加いたしました。

品目の変更はございません。

【破碎・圧縮固化】

廃プラスチック類（自動車等破碎物を含む。）、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず（自動車等破碎物を含む。）、ガラスくず・コンクリートくずおよび陶磁器くず（自動車等破碎物を含む。）、がれき類。以上8種類

※使用済自動車の再資源化等に関する法律が対象とする自動車等は取り扱わない。

● 設備設置場所

設置場所：東港金属千葉工場（千葉県富津市新富 52 番 1）

当社およびグループ会社概要

会社名：サイ클ーズ株式会社（英表記 Cyclers Co., Ltd.）(<https://www.cyclers.co.jp/>)

所在地：〒143-0003 東京都大田区京浜島 2-20-4

設立：2020年9月

資本金：1億円

代表者：代表取締役 福田 隆

事業内容：グループの事業の統括、グループの経営の統括・戦略の立案、
グループの管理業務の統括他

会社名：東港金属株式会社 (<https://www.tokometal.co.jp/>)

所在地：〒143-0003 東京都大田区京浜島 2-20-4

創業：1902年7月

設立：1947年12月

資本金：1億円

代表者：代表取締役 福田 隆

事業内容：金属スクラップ全般に関する業務（国内/輸出入）、プラスチックの各種リサイクル、産業廃棄物の収集運搬および中間処理、再生、並びにリサイクル事業他

本件に関するお問い合わせ先

サイ클ーズグループ 広報/PR 担当（ベンチャー広報内）小泉

TEL: 070-3812-5136 Email: koizumi@v-pr.net